

評価内容(福山電業株式会社)

敬称略、順不同

評価員名	所属	評価内容
渡邊 一成	福山市立大学	本事業の目的、2階の活用方針を踏まえ、パブリックマインドをもって、めざす姿や企業間の連携・交流の具体的なコンテンツ提案をいただけた点は高く評価できる。 今後、詳細な空間構成や環境設備等の検討を進めていただく事になるが、運営体制や資金計画に係る詳細な協議を重ねる中で、官民連携プロジェクトとしての役割分担の明確化等にも取り組んでいただき、1階と有機的につながる「共創・協働」の拠点となり、福山の元気づくり・未来づくりに寄与いただくことを希望する。
入江 智子	株式会社コーミン	本提案は、RiM1 階の運営実績に基づいた、意欲溢れる提案であった。リアルな場を育てる重要性や「若者や女性が魅力的な働き方をするには、企業が変わらなければならない」という明確なコンセプトを打ち出している点が評価できた。
池内 精彦	福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz	既に4年間にわたり1階を運営し、集客と「市民の集いの場」として共感を得ている実績が強み。2階は「働き・学び・賛同し合う」場として十分に期待できると考える。
後藤 裕正	福山商工会議所	企画内容について、企業間交流の促進や働きがいの創出といった先進的な視点が盛り込まれており、目指す姿が明確に示されている点について概ね評価できる。 施設整備について、共用部における給湯設備等の必要性の整理や、1階、2階フロア間のセキュリティ区分の明確化、施工計画及び安全管理体制については、より具体的な内容の提示が必要であると考え。 施設運営について、運営計画及び維持管理計画ともに概ね妥当であると評価できるが、安全管理計画については、1階、2階フロア間のセキュリティの考え方とあわせて、具体的な対応策を明示することが必要であると考え。 資金調達計画について、賃料設定(レンタルスペースを含む)や想定入居率の妥当性、並びにそれらの算出根拠をより具体的に示す必要があると考える。 総合的にみて、1階におけるこれまでの運営実績を踏まえ、2階の運営事業者として選定しても良いと考える。
小沢 良平	株式会社日本政策投資銀行中国支店	本提案は、公募の目的に合致した、熱意ある提案であると評価できる。 提案者のサポートにより、入居テナント自らが、企業の在り方を変えて、魅力ある産業・働く場づくり・ひとづくり・まちづくりの主体・結節点・触媒となって、地場産業の革新的な発展のみならずその先にあるまちの持続性・活性化にむけて周囲を巻き込んでいく展望には、ありがたい姿の高さを感じた。 是非、本事業を通して、若者・女性・新しい働き方・イノベーションなどをキーワードに、新たな組み合わせ(結合・融合)から近隣の産業、ひとの活躍、まちの隆盛につなげていただきたいと思う。 一方で、目指すべき理想が高いが故に、厳しい入居選定基準やコミュニティ参加などテナント確保は容易ではないと思うので、しっかりとやりきる覚悟をもって臨む必要があると感じる。 また、管理・運営の一部の内製化は、入居者間の分担において、後々トラブルが発生しないように精緻に取り決めてほしい。加えて、新たな結合の効果を高める目的で、多様な業種等から入居者を募ることも検討してほしい。

奥野 弘展	広島県商工労働局	1階iti SETOUCHIとの一体的運営で、RiM全体のブランド向上が大いに期待できる。また、提案内容の取組に加えて、これまでの1階での取組が2階入居者の参画によりさらに拡大、深化していくことを期待する。 交流イベント等が1階に集中することから、2階部分がありきたりなオフィス、共用スペースにならないよう、日常的な交流につながる仕掛けや、福山らしい(さらに府中、笠岡、井原等備後の)地域情報に接するような工夫に努められたい。 iti SETOUCHIを含め、この施設はまだまだ福山市民に、さらに県内外に知られていない。今後とも一層の情報発信や「攻めた」取組への挑戦を続け、「福山には駅前にRiMがある」、そこで働けることを誇れる施設に成長していただきたい。福山駅前の利便性等を活かした企業誘致の受け皿としても大いに期待する。
村上 正人	福山市	1階のコワーキングスペースを活用した企業間交流の仕掛け作りや共有スペースの充実により、異なる企業の職員の交流を促進させて、若者や女性の「やりがい」と「働きがい」を最大化させるという提案が高く評価できる。 また、地元のものづくり企業と都市部のIT企業がマッチングすることで、地元企業に新しい働き方が生まれるきっかけとなり、若者が「ここで働きたい」と思える未来が想像できた。 1、2階で一体的な運営がされることで、エフピコRiMが新たな価値が生み出されるビジネスの拠点として福山駅周辺のにぎわい創出の核になることを期待する。
渡邊 真悟	福山市	本提案は、「魅力的な働き方や先進的な取組が生み出される拠点」として、人口減少、若者の転出超過といった本市を含む全国の自治体が抱える課題の解決が期待できるものである。 その実現に向けては、テナントの選定や企業間の役割分担が重要であると考えており、今後さらに精度の向上を図っていただきたい。
豊田 智秋	福山市	RiM2階を1階との連携や共有スペースの確保、人材創出のための取組などにより、働きがいや企業間の交流によるイノベーションを生み出す拠点とすることに対する意欲が強く感じられた。 また、テナント選定において、事業趣旨への理解、共感や行動意欲を重視することとしており、提案された様々な取組を実現させ、福山駅前の拠点として、新たな価値観の創造や若年層の流出抑制、エリア価値の向上といった地域課題の解決へ貢献することを期待する。